

決議案第11号

「特別支援学校の設置基準」策定を求める意見書について

標記の件につき、別紙のとおり天理市議会会議規則第14条第1項の規定により提出する。

平成26年12月22日提出

天理市議会議員	飯	田	和	男
〃	川	口	延	良
〃	市	本	貴	志
〃	加	藤	嘉久次	
〃	三	橋	保	長
〃	岡	部	哲	雄

「特別支援学校の設置基準」策定を求める意見書

全国的に特別支援学校の児童・生徒数の増加が進み、在籍者数はこの10年間で約36,000人増えています。学校建設が進まない中でマンモス化傾向が進み、子どもたちは過密な状態の中で、学ぶ権利が奪われるばかりか、命と健康をも脅かされています。また、普通教室が足りず、特別教室を転用したり、1つの教室をカーテンで仕切って使ったりすることが常態化しています。2013年の文科省調査でも、全国で4,271もの普通教室が不足していることが明らかにされています。

これは、特別支援学校に設置基準がないためであります。すべての障害者のあらゆる人権を保障することを目的に、日本政府が今年1月に批准を決定した「障害者の権利条約」に照らしてみても、早急の対応が求められます。

よって、国に対して、次の事項を強く要望します。

1. 「特別支援学校の設置基準」を策定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月22日

天 理 市 議 会